



2011年4月5日

お客様向け資料

BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社

フィッチ・レーティングスによるブラジル国債の格付けの引き上げについて

2011年4月4日（現地）、大手格付け機関フィッチ・レーティングス（以下、フィッチ）は、ブラジルの外貨建て国債の格付けを BBB- から BBB に 1 段階引き上げたと発表しました。

フィッチは、2008年5月に外貨建ておよび自国通貨建てブラジル国債の格付けをBB+から投資適格となるBBB-に引き上げ、その格付けを維持してきました。

ブラジル経済は世界的な景気後退からいち早く回復しており、2010年のGDP成長率は7%を超える高成長を達成しました。ただし大手格付け機関各社は、ブラジルのソブリン格付けを投資適格に引き上げた後は、ルーラ大統領の後任であるジルマ・ルセフ氏の経済運営を注視する姿勢をとってきました。

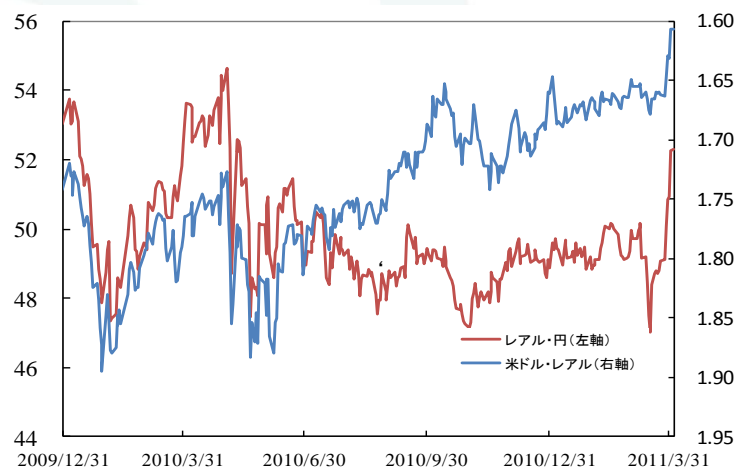
今年1月にブラジル大統領に就任したルセフ大統領は、2月にはインフレ抑制と財政赤字改善のために501億レアルの歳出削減を発表したほか、今年の最低賃金を6.8%引き上げて月額545レアル（約2万7,000円）とする案を提示し、より大幅な引き上げを求める提案を拒否するなど（同案は議会で可決されました）、規律ある財政政策路線を示しています。

こうした一連の経済運営が奏功し、ブラジルの2011年2月末現在公共部門純債務対GDP比は39.9%と対GDP比40%を切る水準まで低下したことや、経済のファンダメンタルズが安定していることが評価され、今回の格付けの引き上げに繋がったと考えられます。

なお、為替市場では、ブラジルの政策金利が相対的に高いことや、好調な経済を背景にレアル高が進展していますが、ブラジル政府はインフレ目標の達成を2012年に延期し、金利引き上げ以外の方法によって急速なレアル高を抑制する政策を採っています。

通貨レアルの推移

(円) (2008年1月2日 - 2011年4月4日) (レアル)



ブラジル外貨建て国債の格付け推移

	ムーディーズ	S&P	フィッチ
2011年4月4日			BBB
2009年9月22日	Baa3		
2008年5月29日			BBB-
2008年4月30日		BBB-	
2007年8月23日	Ba1		
2007年5月16日		BB+	
2007年5月10日			BB+
2006年8月31日	Ba2		
2006年6月28日			BB
2006年2月28日		BB	
2005年10月12日	Ba3		
2004年9月28日			BB-

本資料は、BNP パリバアセットマネジメントブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解を提供することを目的として、2011年4月5日に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。